

3 国際化を進める体制づくり

現在まで、ボランティア団体、行政、民間、市民、外国人それぞれが個々に国際化の活動を行ってきました。しかし、外国人が増え、多様な要望や問題を解決し、外国人が同じ新居浜市民として生活していくためには、市全体が協働で多文化共生社会の構築をはじめとする国際化を進めていかなければなりません。

(1) 外国人窓口の設置

市内だけでなく、国、県、他市の国際化に関するできるだけ多くの情報を日頃から収集し、臨機応変に対応や専門機関への連絡ができるように努めます。

また、関係機関とコミュニケーションをとり、本市の国際化を推進しているボランティア団体の紹介、イベント紹介などの、常に新たな情報を市のホームページに公開したり、外国人の多く集まる施設などに配布します。

(2) 国際化ボランティアの登録

他国の言語や文化講座の講師、ホームステイの受入れ、通訳ガイド、翻訳、日本語教師などの国際化ボランティアを募集し、部門ごとで登録し、外国人から依頼があった時に紹介できるシステムを構築します。

登録は日本人に限らず外国人も可能とし、同じ国の外国人の要望などへの支援をお願いしていきます。

(3) ネットワークづくり

国際都市づくり委員会においてそれぞれの機関の現状を報告し合い情報を共有したり、問題を提起して解決していきます。

あわせて、関係団体の相互協力が行われるよう、ネットワークづくりに努めます。